

第50回 国際福祉機器展 H.C.R2023 に行ってきました。

令和5年度の国際福祉機器展は、例年通り、東京ビックサイトで行われました。その日は残暑もあり、屋外で昼食をとったので暑かったです。

電動・手動の車いすや、車いすごと乗降できるワゴン車。それに定番中の定番、介護用のベッド、浴室、トイレなど。コロナも5墨になり以前の、活気が戻って来たようです。

さて、私自身今回の、国際福祉機器展には自立生活センターたいとう・まちづくプロジェクトとして

行く取材のほかに、私事の目的もありました。それは10年程前の事と記憶していましたが、私のパソコンで使っているトラックボールを、誤って机から落としてしまいました。重くて、頑丈そうな作りのトラックボールでしたが、70センチぐらいの高さのある机から、落下したところが板張りのクローゼットだったので、一発で破損してしまいました。アメリカ製のトラックボールで、手に障がいがある私には、非常に使いよく出来ていたので、ショックでした。やむを得ず既存のメーカーのトラックボールを、使って6,7年経ち、一応使いこなせてはなりましたが、手の不自由な人のために作られた物ではなかったので、思うような操作がしづらい所もありました。そんなことを思いながら会場を周り、もう、1時間足らずで迎えのタクシーの来る時間となったとき、付き添ってくれたヘルパーが見つけてくれた展示コーナーに、子供のゲームを動かす、補助具を作っている会社が出店しているものの中に、トラックボールがありました。



今年も多様な電動車いすが展示されていました。左の車椅子は階段も登れるそうです。また、右のキャタピラの車いすは荒地や山も登れるそうです。